

平成26年6月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

袋井市議会

**インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています**

「袋井市役所／市議会トップページ」



「本会議のインターネット中継」をクリック



（ライブ中継） または （録画放送）をクリック

**傍聴者の皆様へ**

**携帯電話はマナーモードに切り替えをお願いします。**

## 一般質問通告議員

6月10日（火）

### 【午前質問予定の議員】

質問順序	質問形式		ページ
1番	一問一答	大庭通嘉議員	1
2番	一括	山田貴子議員	2
3番	一括	寺田守議員	3

### 【午後質問予定の議員】

4番	一括	伊藤謙一議員	5
5番	一括	岡本幹男議員	6
6番	一括	戸塚哲夫議員	7

6月11日（火）

### 【午前質問予定の議員】

7番	一問一答	高橋美博議員	8
8番	一括	高木清隆議員	9

質問順序	1	議席番号	19	質問者	大庭 通嘉
質問事項・要旨（具体的な質問事項）    <<一問一答>>					
<b>1</b>	<b>行政経営について</b>  「市民と行政のパートナーシップによる新たなまちづくり」に基づいて進めている事業の推進体制と、同手法に基づいた本市公民館の運営方針について。 (1) パートナーシップ事業について ア パートナーシップ事業の基本方針と具体的な進め方について（地区防災対策会議の終期等） イ 地域担当職員配置問題について（実施状況・成果・服務規程等との整合） ウ 地域担当職員配置による課題解決体制について (2) 公民館のあり方について ア 公民館の人員配置について イ 公民館の呼称変更の進め方について ウ 現公民館の評価とさらに求めるコミュニティ機能について エ 公民館・コミュニティセンターの適正規模（単位）と行政の誘導策について オ 現公民館の運営体制の問題点把握とその見直しについて カ 公民館人員増員計画と雇用の受け皿との関係について				
<b>2</b>	<b>企業誘致について</b>  企業誘致は市政運営、市の経営という観点からも、雇用・税収確保という観点からも極めて重要。本市の推進体制は。 (1) 企業誘致の動向及び法人市民税の推移、並びに法人税収の分析について (2) 法人税減税における本市への影響想定について (3) 内陸フロンティアの推進について ア 特区指定を受けての具体的進め方 イ 商工会議所の提言の検討と実施見通し（三川西山&宇刈地区開発等）				

質問順序	2	議席番号	8	質問者	山田 貴子
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <b>《一括》</b>					
<b>1</b>	<b>全国学力テスト</b> <p>静岡県は、昨年度基礎的知識を問う小学6年「国語A」で、都道府県別の平均正答率が最下位となった。本年度実施した「全国学力・学習状況調査」（全国学力テスト）の結果について市の考えを問う。</p> <p>(1) 結果は、8月に文科省から公表されるが、事前採点をするのか、学校別の平均正答率の公表を如何するのか市の考えを問う。</p> <p>(2) 知事は「試験を受けた以上、結果を公表するのは義務」と言っているが市の考えを問う。</p> <p>(3) 市として取り組んだ脱・最下位対策の手応えがあったか。</p> <p>(4) 学力向上推進委員会の活動報告と今後の方針を問う。</p>				
<b>2</b>	<b>給茶器</b> <p>「日本一健康文化都市」として袋井市全ての小学校に給茶器を設置して3年半経ちますが、有効に使用されているのかを問う。</p> <p>(1) 小学生は毎日水筒持参で登校しています。夏は熱中症予防に大変役立っていますが、持参した水筒だけですと足りない場合、給茶器があり助かっていると聞きましたが、実際に使用している児童は何割いるのか。</p> <p>(2) 給茶器にはコールドとホットに分かれてお茶と水が出るようになっていますが児童達は、どの位の割合でお茶を飲んでいるのか。</p> <p>(3) 給茶器の単価と一台あたりのメンテナンス等年間の費用は。</p> <p>(4) 今後の考えを問う。</p>				
<b>3</b>	<b>高齢者活動推進費</b> <p>県内の高齢化率過去最高となり、そのなかでも去年に引き続き袋井市は第2位の低さを保ちましたが、高齢化のスピードの速さに手を打ったと思われる市の敬老祝い金について問う。</p> <p>(1) 喜寿の祝い金は昨年度と同額で、米寿の祝い金を半額にした理由は。</p> <p>(2) 自治会には説明が無いのはなぜか。</p> <p>(3) 今後の方針を問う。</p>				
<b>4</b>	<b>振り込め詐欺</b> <p>安全・安心のまちづくりを目指している当市です。全国的に未だ減らない振り込め詐欺に対して市の対策を問う。</p> <p>(1) 振り込め詐欺被害はありましたか。</p> <p>(2) 市としての対策は。</p>				

質問順序	3	議席番号	7	質問者	寺田 守
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <b>《一括》</b>					
<b>1</b>	<b>当市の教育への感想と抱負</b> <p>当市は「心ゆたかな人づくり」を基本目標に定め教育行政を進めてきた。新しく教育長に就任されて当市の教育の現状についてどのような感想を持たれたか、また今後の抱負についてご所見をお伺いしたい。</p>				
<b>2</b>	<b>教員の勤務実態</b> <p>学校現場では、要請される教育課題や社会的環境の変化から人的パワーの不足、教員の過労が指摘される。当市の教員の勤務実態と改善策について伺う。</p> <p>(1) 当市の教員の勤務実態はどうか、長時間残業が問題になっていないか。</p> <p>(2) 当市では独自の支援事業として「レインボープラン」を立ち上げ、「フーちゃん先生」「特別支援教員」など支援員を学校に派遣している。この事業の実態、今後の支援体制について伺う。</p>				
<b>3</b>	<b>学校と地域の連携</b> <p>学校と地域が連携し、地域ぐるみで学校を支える活動が注目されている。学校教育の在り方としてどのように考えるか。また今後の展開について伺う。</p> <p>(1) 袋井北小学校では「ともえサポーターズ」が組織され活動しているが、どのように評価しているか。</p> <p>(2) 国・県では「学校支援地域本部事業」により地域ぐるみで地域の子どもを育てる方向を打ち出しているが、これを広めていく考えはあるか。</p> <p>(3) 子どもたちを交通事故から守るため、スクールボランティアが登下校を見守っているが、登録者は何人いるのか。</p> <p>(4) 学校でのボランティア活動に対し、どのような支援が行われているか。また今後どのような支援を考えているか。</p>				
<b>4</b>	<b>学校施設の整備充実</b> <p>子どもや父母にとって学校を選択の余地は殆どない。そういう中では、学校施設の整備充実、時代の変化や社会環境に合わせ改善していくことが必要である。</p> <p>(1) 小学校のトイレは保育園や幼稚園の状態、また家庭環境から考えて和式から洋式への切り替えが急務と指摘されているが現状はどうか。今後の計画はどうか。</p> <p>(2) 犯罪への対応や抑止の観点から、防犯カメラの設置が必要と言われているが、今後の設置の必要についてどのように考えているか。</p>				

質問順序	3	議席番号	7	質問者	寺田 守
質問事項・要旨（具体的な質問事項）    <<一括>>					
<b>5</b>	<p><b>鳥獣被害対策</b></p> <p>鳥獣被害、特にイノシシの被害が後を絶たない。猟友会との連携も計画される中で、どのような対策を実施していくか伺う。</p> <p>(1) 近年の鳥獣被害のうち、イノシシによる被害の実態、捕獲頭数はどうなっているか。</p> <p>(2) 捕獲対策として箱わなが用意されているが、貸出台数、地域はどうなっているか、有効に活用はされているか。</p> <p>(3) 市内の猟友会は駆除のため、どのような活動を行ってきたか。今後どのような役割を期待し、支援策を検討しているか。</p>				

質問順序	4	議席番号	4	質問者	伊藤 謙一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p style="text-align: right;"><b>《一括》</b></p>					
<b>1</b>	<p><b>ふるさと納税について</b></p> <p>現在、個人で選べる新しい税のカタチとして「ふるさと納税」が注目を浴びているが、その背景として納税者に対する様々な特典制度がある。そこで本政策の現在の本市の取り組み及び今後の展望を問う。</p> <p>(1) 近年のふるさと納税希望者の数、納税額の推移はいくらか。また、昨年の市内のふるさと納税を利用した方の住民税における税額控除の影響はどうか。</p> <p>(2) 寄附を使用する政策を納税者に選ばせるという本市の「ふるさと納税」の特典であるがどのような希望傾向にあるのか。具体的な要望はあるのか。</p> <p>(3) 他県の市町村では、納税者に対する特典制度を見直した結果、申込者が100倍以上に膨れ上がったケースもある。費用対効果の問題もあるが、特典制度を見直し新たな税収の確保に取り組むべきでは。</p>				
<b>2</b>	<p><b>本市のホームページについて</b></p> <p>市にとって重要な玄関口であるホームページが本年度新設される。市民が使いやすく、市にとっても情報発信の場として期待される事業であるために以下を問う。</p> <p>(1) 静岡理科大学との作成工程において現在の進捗はどうか。新ホームページ公開の具体的なタイムスケジュールはできているか。</p> <p>(2) 新しく付加すべき機能についてどのような場で議論及び検討がされているか。</p> <p>(3) 従来のホームページと外観が異なる場合や、新しい機能を付加した場合はマニュアル及び市民の方に対して周知が必須だと考えるがどのように行おうと考えているか。</p>				
<b>3</b>	<p><b>袋井市緑の基本計画について</b></p> <p>近年本市は市街地整備や宅地開発により農地や森林は減少傾向にある。本計画は平成17年を基準年として、平成21年度に策定され平成37年を計画の最終年度としているが、次年度の27年度は10年ぶりの計画の見直しが行われる節目であることから本計画について問う。</p> <p>(1) 現状の市内の、公園緑地面積の推移は。</p> <p>(2) 本計画内での目標水準達成の見込みは。</p> <p>(3) 多様な手法による緑の創出「屋上緑化」「壁面緑化」「緑化ブロックを使用した駐車場」等施工した事例はあるか。</p>				

質問順序	5	議席番号	2	質問者	岡本 幹男
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <b>《一括》</b>					
<b>1</b>	<b>産業振興策について</b> 雇用と税収の確保にとって重要な産業振興策の今後の具体的な方向付けについて伺う。 (1) 山科東工業団地の残るB区画は、売却可能な具体的見通しが立っているか。B区画の販売がそのままでは困難な場合、分割しての販売も考慮に入れているか。 (2) 産学官情報交換会の今年度の具体的実施内容について伺う。昨年度は業種分野を絞って実施したが、全業種対象の方が産業振興を図る上では有効ではないか。 (3) 市内外企業との情報交換やニーズ調査はどのように行っているか。また、採用関係等の成果はどうか。				
<b>2</b>	<b>高齢者対策について</b> 平成26年度は、「袋井市長寿しあわせ計画」更新策定の年となっている。高齢者対策の具体的方針について伺う。 (1) 介護保険法改正による自治体の地域支援事業への取り組みをいかに進めていくか。 (2) 高齢者用諸施設の地域間バランスをいかに図っていくか。特に南部地域の不足に対する対策はどうか。 (3) 介護予防事業に新たな取り組みはあるか。その一環である「ふれあい居場所づくり事業」の具体策は。				
<b>3</b>	<b>防潮堤強化について</b> 袋井市南部地区の衰退を食い止める対策としてもっとも期待される防潮堤強化について伺う。 (1) 「静岡モデル」の袋井地区の具体的工事手法について検討状況を伺う。浜松市沿岸域で既に試験施工されているCSG（Cemented Sand and Gravel）工法を採用する予定はあるか。 (2) 募金について具体化の時期や手法はどうか。募金と県税とで工事対象が異なってくるのか。 (3) 「静岡モデル」の防潮堤強化策が実現したときに安全に関するメッセージを発信する用意があるか。その際、ボーリング調査による津波履歴の科学的知見を取り入れる考えはあるか。				



質問順序	6	議席番号	1	質問者	戸塚 哲夫
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
《一括》					
<b>1</b>	<b>農業振興について</b>				
	<p>昨年12月「農林水産業・地域の活力創造プラン」が示され、国内農業を強化する方針が示されたことによる本市の課題と、袋井市の水田農業の振興策についての課題を整理する。</p> <p>(1) 戦略作物推進による水田フル活用で、飼料用米作付面積増加に伴う必要用水量の確保ができるか。現状と対策は。</p> <p>(2) 産地交付金については、どのような単価設定をされたか。</p> <p>(3) 新品種「ふくのいち」の品種登録は完了したのか。「ふくのいち」を含む袋井産米の消費拡大に向けた具体的な取り組みは。</p> <p>(4) 農地中間管理機構との業務委託で、市及び農業委員会の業務負担はどの程度増加したか。</p> <p>(5) 市内水田の暗渠排水の施工面積、更新状況は。</p>				
<b>2</b>	<b>AEDの活用について</b>				
	<p>AEDの使用が一般市民に解禁され10年になるが、全国的にも利用が少ない。今後はさらに、市民に対し、AEDの利用度を高める啓発活動に取り組む必要がある。</p> <p>(1) 袋井市の活用事例は、この10年間で何件あったか。</p> <p>(2) AEDの設置場所や設置状況についてどのように把握されていますか。</p>				

質問順序	7	議席番号	12	質問者	高橋 美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項）    <<一問一答>>					
<b>1</b>	<b>人口減少社会への対応</b> <p>国立社会保障・人口問題研究所、日本創成会議が将来の人口推計を公表した。市も将来人口を予測し的確な対応が必要と考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 市の将来人口の予測はどうか。</li> <li>(2) さらなる少子化対策推進と高齢化に対する備えはどうか。</li> <li>(3) コンパクトシティへの転換を進めるべきと考えるがどうか。</li> </ol>				
<b>2</b>	<b>自治体BCPについて</b> <p>BCP（業務継続計画）を自治体の3割が策定済みといわれる。袋井市の取り組みはどうか。</p>				
<b>3</b>	<b>地域医療・介護総合確保推進法案について</b> <p>地域医療・介護総合確保推進法案が国会で審議中だが、成立すると医療制度は今年10月から、介護保険制度は来年4月から順次改定の予定となっている。法案の市民への影響を問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 法案についての市長の考えはどうか。</li> <li>(2) 要支援者の介護保険の枠外にされる。その影響はどうか。</li> <li>(3) 特養入所条件が要介護3以上となる。入所者、待機者の実態と影響はどうか。</li> <li>(4) 介護保険2割負担の対象者数はどうか。</li> <li>(5) 施設入所者軽減措置（補足給付）打ち切りの影響はどうか。</li> <li>(6) 医療病床再編計画の影響はどうか。</li> </ol>				
<b>4</b>	<b>図書館経営について</b> <p>図書館の運営が非正規に頼る現状は問題があると考え。今後の運営方針を問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 指定管理者制度導入対象外とした理由を再度問う。</li> <li>(2) 市立図書館の評価と問題点はどうか。</li> <li>(3) 正規職員、嘱託職員、臨時職員の実数はどうか。</li> <li>(4) 正規、非常勤職員の図書館司書資格所有者数はどうか。</li> <li>(5) 現状では、今後の運営に支障があると考え。改善は必要ないか。</li> </ol>				

質問順序	8	議席番号	1 1	質問者	高木 清隆
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <b>《一括》</b>					
<b>1</b>	<b>消防団災害対応マニュアルについて</b> <p>消防団は、「自らの地域は自ら守る」という精神に基づき、消火・防災活動はもとより、平常時の啓発活動など幅広い分野で地域防災の要として重要な役割を果たしていることから、地域の実情を踏まえ、消防団の役割と任務を明確化するとともに、警防活動時における安全管理マニュアルの整備が必要。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防団に期待される役割について、どう捉え、かつ、どこまで求める考えなのか。</li> <li>(2) 警防活動時における常備消防との役割分担等の住み分けについて明確化が図られているのか。</li> <li>(3) 警防活動時における安全管理に向け、どう取り組まれているのか。</li> <li>(4) 警防活動時における安全管理マニュアルを整備し周知徹底を図ることが必要と考えるが。</li> </ol>				
<b>2</b>	<b>地域を支える小規模企業の持続的発展に向けた取り組みについて</b> <p>市内の中小・小規模企業の減退は、即、市内経済の衰退、地域コミュニティの崩壊に直結することから、地域社会維持のためにも、小規模企業が将来に希望が持てる施策が必要。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 市内の小規模企業の動向について、分析されているのか。</li> <li>(2) 小規模事業者の現状と課題は何か。</li> <li>(3) 小規模企業の持続的発展に向けては、行政の支援が必要と考えるが。</li> <li>(4) 商工会議所・商工会と連携した経営支援政策構築への取り組みが必要と考えるが。</li> </ol>				
<b>3</b>	<b>人口減少社会に備えたまちづくり</b> <p>地方で暮らす女性が、30年間で大幅に減り、全国の自治体の半分が「将来消滅する可能性がある」との衝撃的な試算が日本創成会議の分科会より発表された。県内においては、リーマンショックを機に社会現象により人口減少が加速している状況にもある。また、対応が迫られている社会インフラの老朽化問題も含め、想定される超高齢化・人口減少社会に向けた対策と次世代につなぐ将来計画を検討する組織の立ち上げが必要。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 経済において、産業の空洞化が推察されるがどうか。</li> <li>(2) 社会保障制度維持に向けた影響をどう推察されるか。</li> <li>(3) 地域社会の再編、連携、施設集約も検討課題の一つとなり得るがどうか。</li> <li>(4) 次世代につなぐ将来計画を検討する組織を立ち上げるべき。</li> </ol>				